

公共施設の再編について

鎌倉市では、現在、公共施設の老朽化が進み、今後集中して必要となる施設の建替えや改修などに係る多額の費用確保が課題となっています。

今ある公共施設を残す、さらに充実させるのではなく、機能を維持していくために複合化や集約化などの「公共施設の再編」に向けた取組を進めています。

市民の皆さま一人ひとりが課題について考え、「世界に誇れる持続可能なまち鎌倉」という財産を子どもたちに残していきましょう。

「由比ガ浜子どもセンター」複合化の事例

● 4つの施設を複合化

（材木座保育園、稲瀬川保育園、子育て支援センター、障害児通所支援施設）

● 津波避難機能も備えた施設として整備しました。

【事業概要】

● 平成29年度（2017年度）開設



地域の子育てを
広くサポートする
施設です



「市営住宅」集約化の事例

● 6つの市営住宅を1か所に集約化（A～E棟の全5棟）

（深沢住宅、笛田住宅、梶原住宅、梶原東住宅、植木住宅、岡本住宅）

● 民間事業者のノウハウを活用して、整備を進めています。

【事業概要】

● 令和3年度（2021年度）事業契約

● 令和6年度（2024年度）

第1期事業としてA棟のみ供用開始



こんな取組を
進めています



※整備イメージ

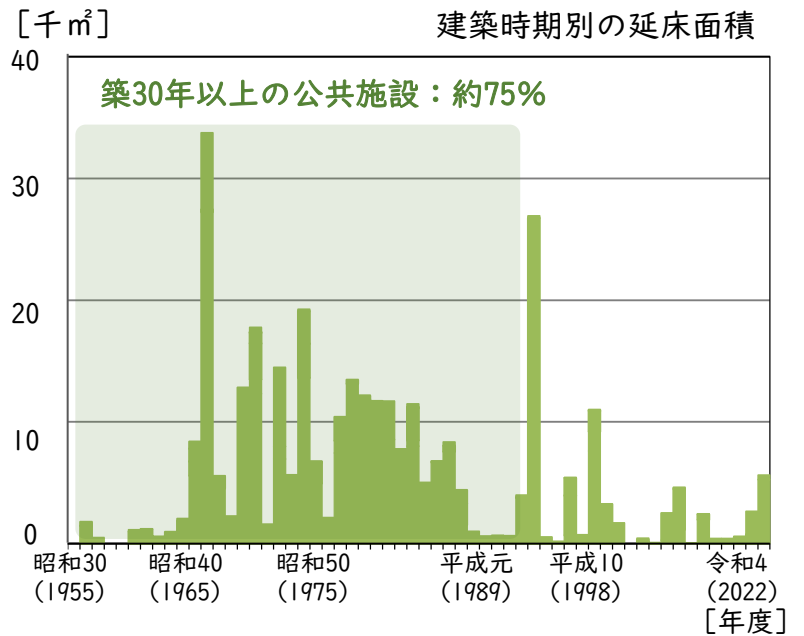
公共施設を取り巻く現状・課題

課題1：公共施設の老朽化

昭和の高度経済成長や人口増加に合わせて建設してきた公共施設の老朽化が進み、**築30年以上の公共施設が約75%**を占め、建替えや改修が必要な状況となっています。

課題

今後、建替えや改修を計画的に進めないと、これまで以上に老朽化が進行し、**公共施設の維持が困難**となります。

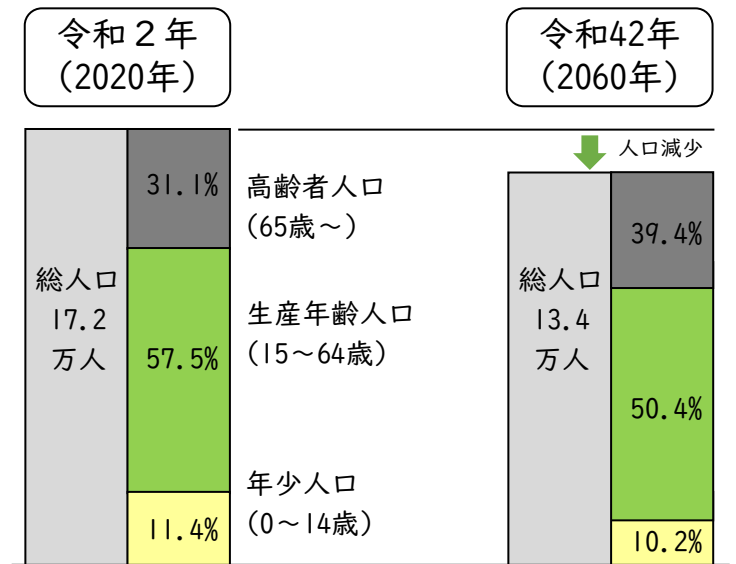


課題2：変化する人口

約40年後、鎌倉市の総人口は推計で**13.4万人**に減少、高齢者の割合は市全体の**約4割**となり、**少子高齢化**の更なる進行が予想されます。

課題

将来、**市税収入が減少**していく中で、人口構成の変化による**市民・利用者ニーズへの対応が困難**となります。



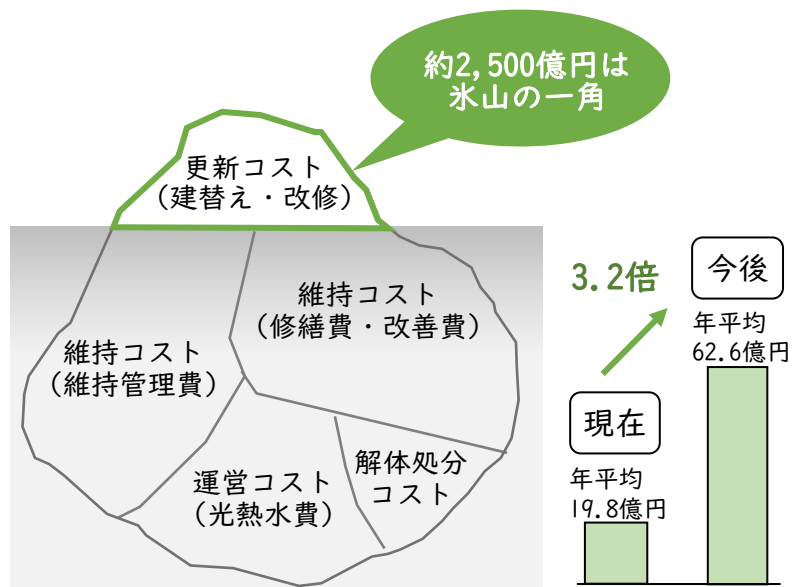
課題3：更新などに係る多額のコスト

現在の公共施設を今と同じように建替えや改修で更新し続けた場合、令和35年度(2053年度)までに**約2,500億円 (年平均62.6億円)**が必要になると試算しています。

また、**更新コスト**だけでなく、**維持コスト**などが必要となります。

課題

現状の**3.2倍**となる多額の**更新コスト (62.6億円/年)**を賄う必要があります。



このままだと...

- ❗ ニーズに合わず、利用できない、利用されない施設が出てくる
- ❗ 建替えや修繕が追いつかず、施設機能が低下、費用も増大化する
- ❗ バリアフリーや省エネルギー化などに対応できない
- ❗ 更新コストなどの増大や人口減少に伴い、市民1人当たりの費用負担が増える

課題解決に向けて

現状・課題を踏まえると、全ての公共施設を更新・維持することは困難です。そのため、「**鎌倉の魅力を引き継ぎつつ、次世代に過大な負担を残さない。**」ことを前提として、新しい時代にあった価値を提供できるよう公共施設のあり方を見直すことを目的に、平成26年度（2014年度）に「鎌倉市公共施設再編計画」を策定し、令和5年度（2023年度）に改訂しました。現在、その計画に基づき再編に向けた取組を進めています。

こんな方法で**再編**を進めていきます！

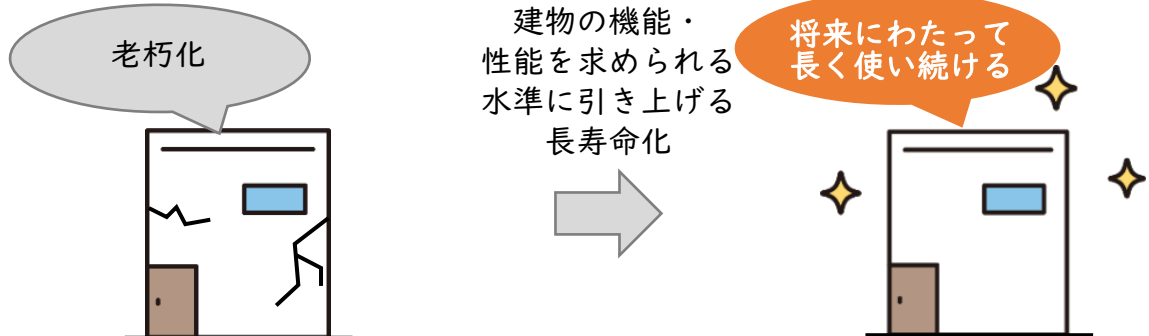
複合化・集約化
異なる種類の施設や同じ機能を持つ施設をひとつにまとめる



ひとつにまとめる

建物の更新にあわせて複合化

長寿命化
経年により老朽化した建物を将来にわたって長く利用できるようにする



老朽化

建物の機能・性能を求められる水準に引き上げる
長寿命化

将来にわたって長く使い続ける

官民連携
施設の整備や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する



鎌倉市が直営

指定管理者制度の導入・民営化など

民間事業者が運営

使いにくくならないかな？
これまでとどう変わるのかな？

期待できる効果

将来的な市民・利用者のニーズの変化などに対応し、**持続可能な公共サービスの実現が可能に！**

その他に期待できる効果



図書館 学校 学習センター

利便性向上

耐震化
耐震性確保
防災機能の向上

新たな交流の創出

バリアフリー化

省エネルギー化

公共施設再編の推進に向けた取組方針

- ① 施設計画は、構想段階から情報発信や説明会などの話し合いの場を設けながら進めていきます。
- ② 公共施設の廃止を検討する施設についても、市民・利用者の皆さまからのご意見を聞きながら、丁寧に進めていきます。

鎌倉市

市民・利用者の皆さまに**情報共有**を図りながら、公共施設の**再編**を進めていきます。

市民の
皆さま

知る

公共施設の課題や再編に向けた取組を調べてみる

考える

公共施設の今後のあり方を考えてみる

参加する

ワークショップなどの話し合いの場に参加してみる

市民の皆さまの声（市民アンケート結果）

令和3年度（2021年度）に公共施設の再編に関する市民アンケートを実施しました。鎌倉市の公共施設の再編に関するご意見を一部紹介します。

▼アンケート設問①

鎌倉市の公共施設マネジメント（再編）に向けた取組をご存じですか。

▼回答①

知っている
19%

知らない
81%

▼アンケート設問②

公共施設の維持・管理には多額の経費がかかることから、市では、施設の複合化・集約化を進め、経費の削減、施設の効率化を進める方向性を示しています。

1つの公共施設に複数の機能を持たせる施設の複合化・集約化について、あなたの考え方に最も近いものを1つ選んでください。

▼回答②

「積極的に実施すべき」及び「施設の種類や需要を考慮し、実施すべき」の割合の合計は**90%**を超えています。

回答	割合
積極的に実施すべき	29%
施設の種類や需要を考慮し、実施すべき	62%
施設の複合化・集約化は、実施すべきでない	2%
わからない	7%

鎌倉市 都市調整部 公共施設課 再編担当

〒248-8686 鎌倉市御成町18-10 TEL：0467-23-3000 FAX：0467-23-8700

詳細は、鎌倉市公式ホームページをご覧ください。

令和6年度（2024年度）4月発行
（令和8年6月一部更新）

鎌倉市 公共施設再編の取組

検索

